

4月18日 月曜日 避難訓練での話

今日は、二年ぶりに、みんなが校庭に集まる避難訓練を行いました。避難訓練は、命を守るための訓練です。先生たちは、大事なことなので、みなさんが黙って避難をすることができるだろうと信じて、行うことにしました。まだ、集会や朝会はこうして集まることはしませんが、避難訓練だけは行っていきます。

さて、今日は最初なので、もうみんなが知っている当たり前のことをおさらいしてみましょう。

おかしも です。

6年生、5年生の人たちは大丈夫ですね。もちろん4年生も説明できますね。

「お」は何ですか。心の中で行ってください。

「おさない」ということですね。

僕が先だ、私が先だ、と、押しあつたら大変です。きちんと並んで、慌てないこと。押さないということです。



「か」も分かりますね。

そうです。避難するときに、あわてて転んでしまうことがあつたら大変です。

だから、「かけない」(走らない)ということです。



「し」は何ですか。

そうです。「しゃべらない」おしゃべりをしないです。今、みんながきちんとできていることです。おしゃべりをしていたら大事な放送、大人の人からの言葉、更に音が聞こえなくなります。もちろん、火事や地震が起きてしまったら、ドキドキして叫んでしまうこともあると思います。でも、そんな時、この言葉を思い出してください。



「も」は、何ですか。

これは難しいですね。「もどらない」です。

「あっ、しまった、教室にタブレットがおいてある、大事な絵を描いたノートがある。」

命が一番大事です。

そんなものを取るためにもどってしまい、再び危険なめにあつたら大変です。絶対にもどらないということを思い出してください。



学校だけではなく、どんなところで火事や、災害にあつても、「おかしも」を思い出してください。